

06 知識・技能を身に付ける

取組事例
16

身近な森の良さを知ろう

～ 三重県のスギを使った箸づくりを通して ～

鈴鹿市立庄内小学校 5 年生



森のはたらきについて学んでいる様子

実施時期	令和 5 年12月
実施場所	図工室
時間	3 時限（45分× 3）
対象・人数	小学 5 年生 8 人
講師	森のせんせい 2 人 （三栄林産株式会社）
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林教育出前授業

めざす姿	06 知識・技能を身に付ける （ 01 遊び・楽しむ、 02 親しむ、 03 興味・関心を持つ、 08 地域の課題に目を向ける）
ねらい	森林のはたらきを発揮させるため、木材を使うことの意義について考える
内容	・ 森のはたらきについて知り、緑のサイクルや木材利用の重要性について学ぶ ・ 丸太はその大きさや材質により、加工方法や用途が異なり、工夫して使われていることを知る ・ 箸づくりの体験を通して、カンナの使い方を知り、木の香りや肌触りを感じ、ものづくりを楽しむ
学習指導要領との関連	森林資源と木材生産（小学 5 年生社会科） 面白さ・不思議さ（小学 1～2 年生生活）、楽しむ（小学 1～4 年生道徳）、飲料水と森林保全（小学 4 年生社会科）、水の循環（小学 4 年生理科）、森林資源のはたらき・森林を保全する仕事（林業）・森林と人々の暮らし（小学 5 年生社会科）、水の作用（土砂運搬）（小学 5 年生理科）、創作活動（小学 4～6 年生図画工作）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）



木材利用について学んでいる様子



カンナを使って箸作りをしている様子



最後にふりかえりをしている様子

子どもの反応	- 今までずっと森をなくすことが環境破壊につながっていると思っていたけれど、日本の森の問題として人工林がそのままになってしまっているという問題もあることを初めて知りました。 - 木の香りを今まで意識してかいたことがなかったけれど、自分で箸を作ってみて、木の香りの良さに驚きました。これからは、近くの森でも感じてみたいです。
学校のコメント	1 時間目にはパネルを使った学習で、「森の働き」や「緑のサイクル」について質問を交えながら理解を深めることができました。 2 時間目のマイ箸作りでは、児童は初めて扱う道具に困惑していましたが、丁寧に教えていただくことで、スギの香る素敵な箸を作ることができました。また、児童だけでなく教師が森について知る良い機会にもなりました。来年度以降はもっと多くの児童に学習の機会を設けられたらなと思いました。